

賃貸物件の無縁仏を永代供養

7年間で129柱を納骨

J I D

約60万件の保証契約件

数を持つ日本賃貸保証

(千葉県木更津市・J I

D)では、賃貸物件に残

された、引き取り手のな

い遺骨を供養している。

7月10日、4回目となる『合同慰霊祭』を開催した。

『合同慰霊祭』とは、

同社の家賃保証契約者に

関する永代供養墓と、特

に功労のあった同社の社

員を祭(まつ)る企業墓

の双方を供養する法要の

こと。4年前から年1回、

執り行っている。7月10

日に行われた法要には、

同社の井坂泰志会長、梅

田真理子社長をはじめ、

役員8人、社員10人が参

加した。

同社が保

証する賃借

人のうち、

親族などが

おらず孤独

死したり、

夜逃げ同様

で退去し、

残置物に遺

骨が残って

いたりする

ことがある

。その際

に遺骨の引き取り手がな

い場合、同社の永代供養

墓に納骨する。永代供養

墓を建立したのは201

3年。保証会社として、

賃借人の残した遺骨まで

責任を持つべきだと考え

たことが始まりだ。以前

は引き取り手のない遺骨

の納骨を、地域の寺院や

行政の協力を仰ぎ供養し

ていた。都度、これらを行

っていたことから自社で

の供養を検討しはじめ、

11年の本社移転を機に永

代供養墓建立に至った。

毎年数十体の遺骨が入

り、現在では全国から集

まった遺骨129柱が納

骨されている。既に永代

供養墓の半分以上が埋ま

っている状況だ。

実際に引き取り手が現

れたのはわずか1件にと

どまるが、中には遺骨を

引き取りたいという声も

ある。これまでに数件、

「生活基盤が整ったので

引き取りたい」という相

談が寄せられているとい

う。

「保証事業は賃借人の

ためのもの。生活弱者も

安心して暮らせるよう、

今後も入居者に寄り添い

たい」(井坂会長)



▶法要の様子



▶永代供養墓に手を合わせる井坂会長